

HbA1c 測定における L/S 比の特性と異常ヘモグロビン検出における有用性に関する研究に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、検査結果やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2026 年 1 月 1 日から 2026 年 8 月 14 日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、ヘモグロビン A1c (HbA1c) 検査を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

院内の検査室でヘモグロビン A1c を測定する際、副次的に得られる測定項目 (LA1c+, SA1c, L/S 比) が、ヘモグロビン A1c の測定に影響を与える異常ヘモグロビン症の補助的な診断指標として活用できるか検討することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2027 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 10 月 19 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院中央検査部において、研究責任者である北川 裕太朗が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

なお、この研究では、以下の診療情報を使用させていただきます。

① 臨床情報

年齢、性別、国籍、基礎疾患、最終診断名、糖尿病の有無、腎疾患・肝疾患等の併存疾患、輸血歴、治療内容・使用薬剤など HbA1c 値の解釈に必要な情報

② 検査結果

HbA1c (クロマトグラム解析、LA1c+, SA1c, L/S 比、異常 Hb フラグを含む)、血糖、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、グリコアルブミン、総蛋白、アルブミン、腎機能関連項目、肝機能関連項目、異常ヘモグロビン解析結果、必要に応じて他法による HbA1c 測定結果

③ 委託解析結果

東ソー株式会社で実施された異常ヘモグロビンの解析結果

2. 試料・情報の取得方法

ヘモグロビン A1c 検査を実施した患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者

・ 埼玉医科大学病院	中央検査部	主任	北川 裕太郎（研究責任者）
・ 埼玉医科大学病院	中央検査部	技師長	松岡 優
・ 埼玉医科大学病院	中央検査部	係長	庄司 朋子
・ 埼玉医科大学病院	中央検査部	臨床検査技師	内田 早耶
・ 埼玉医科大学病院	中央検査部	臨床検査技師	宮内 楓
・ 埼玉医科大学病院	中央検査部	臨床検査技師	高田 友仁
・ 埼玉医科大学病院	中央検査部	臨床検査技師	倉持 佳菜
・ 埼玉医科大学病院	中央検査部	臨床検査技師	小野 恵奈
・ 埼玉医科大学病院	中央検査部	部長	前田 卓哉

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身の検査結果やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 中央検査部 北川 裕太郎（担当者氏名）

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1434（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：kita_y “AT” saitama-med.ac.jp.ne.jp（“AT” を@に置き換えてください）

○研究課題名：HbA1c 測定における L/S 比の特性と異常ヘモグロビン検出における有用性に関する研究

○研究代表者：大玉医科大学病院 中央検査部 北川 裕太郎